



発行所
三池炭鉱労組
大牟田市不知火町2
電話 33033番
33034番
編集人 池田 紀生
年刊600円 送料共

おねがい
今年もやっと、秋の好季節を迎え、いよいよ、鉛筆もとれるでしょう。本紙を皆さんの投稿や投書で、発展させてゆきましよう。



三池高炭鉱など「馬の鼻先にニンジン」のたとえ通り、出炭高にに応じた奨励金が出されるというので、組合員がわがちに仕事に夢中になって働くという、命と権利を金で買いつけるやりかたに、資本の非人間性を強く感じたことである。

この問題提起に、こたえよう

心が重くなるばかり

血よりも濃く結ばれた筈が...

三池主婦会三川支部の新聞「主婦会三川」が一つの注目すべき手記を紹介した。主婦会員一大久保信さん(新港地域)の「心のまなまに」がそれで、このごろこの意見はよく耳にするが、三池労組・三池主婦会ともども、新しく確立した行動方針にもとづいて70年代の闘いに前進を開始していく際、重大な問題提起となつていく。この機会に大いに討論を起そう。そして、この手記にこたえたい。自己反省でもよし、批判でもよし。大いに口を開き、鉛筆をとろう。

ブロックごとの会合も終わって、度重なる会合の中では重く淋しくなるばかり。いままでは種々の会合にでることで重く淋しかった自分を、のろろしく淋しく思っていたのに...

下ばかりうつむいている人、私語に興じている人、それぞれ家庭にあつては多忙な時間をさいておしゃべり集まっていたのであろう。この調子では、と案ずる。

ちつていふことを、なぜ？ 人間がでるべきあることを、一人ひとりの腕を組み、肩を寄せ合つて成就させることにあると思う。な

にも、私は組合、主婦会の執行部人間がでるべきあることを、一人ひとりの腕を組み、肩を寄せ合つて成就させることにあると思う。な

供のこと、まるで私の頭の中は分らないことではない。若い頃は討論がとまれば夫婦喧嘩を誘発させる程激しいものだったが、いまでは夜の更けの静けさ、唯一つひとつを確実に話し合うようになった。人のためではなく自分自身のために、何により話し合うことかと思う。

八月十二日以来ストライキに突入、夏季一時金闘争を続けていた富士タクシー労組は、この一日に会社側が出してきた回答について検討を加えた結果ストライキを中止、闘争を妥結した。

富士タクシー 期手闘争妥結

目的達成できたか？ 三池で学んだ「教訓」を今後

前略、台 なるかもしれません。来年三池の風のため八 地でもまた学ぶことが出来るかどうか月半ばとは かわかりませんが、いい勉強をさせていたいただいたところでお礼を言います。卒業後、自分の職場で何と今回の経験を生かすことが出来るよう、がんばりたいと思つてるところです。

自分なり ありがとうございました。三池の人々にとっては毎日毎日が闘いであり、私たち米子に在る学生には想像もおよばない緊張した毎日だと思つていますが、その中であつて人間らしく生きることを追及しておられる三池の人々と共に生活したことは、大きな心の支えです。これから私もいっそう努力したいと思つてます。

また暑い日も繰り返していかうかと思つてますが、お体に十分注意されまして、三池の闘いの炎をいつまでも燃やしつつけてくださいませ。

目指すは統一の強化

職新実務者会議開催

12日～13日

三池労組はきたる十二・十三日の二日間、泊りこんで、第三回職場新聞実務者会議を開催することにした。

すでに三池労組における職場新聞活動は、関係活動者・実務者の努力によって、明らかに発展の勢を示している。中には定着発行に成功した新聞が少なくなく、しばしば発行が滞りおくれたりして新労組員から「新聞はなし出らん」と待たれるところさえ見られる。

現在職場新聞は、はげしい勢いをもち、全国的なあつちの産業の職場で(地域でさえ)発展しているが、これは労働者の上に日増しにけしきを増して来る資本の合理化攻撃、さらには組織分裂や切

り崩れに對し、これにあくまで抵抗し、また職場からの統一の実現とその強化を目指す労働者の階級的エネルギーが、着実に力をつけてきたことを意味しよう。全国的に積極的な参加が望まれる。

四次石炭政策の下で定められていた閉山・合理化攻撃と身をもつて対決するつもりだ」と、出馬の抱負を語った。

現在炭鉱で閉山がうつつき、依然として死者を伴う重大災害がうつつづいているとき、参議院議員選挙に對する山本委員長の出馬の抱負を語った。

山本委員長、来組の抱負を語る

山本委員長、来組

参院選立候補への抱負を語る

去月二十一日、山本忠義炭労委員が来組した。今回の来組の目的は主として、明年六月七月に行

なれる参議院議員選挙に、全国区からの立候補を決定し、対するお礼のため、同委員長は「第

九州地方炭鉱主婦協議会は、去月十九・二十の両日、福岡市市民会館で評議員大会を開催、新年度の行動方針を確立した。

三池主婦会からは五人の代表が、自民党政府の石炭切り捨て政策のため、九州の炭鉱も今では激減し、発足当時十九支部が結集した

率直な評議員の発言によれば、

八月十八日

柳光さんのお住まいは「鳥取県米子市西三六二一、鳥取大副学部附属看護学院学生寮」で、同学院の三年に在学中です。